

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月16日(金) 9:30～11:30
- 3 開催場所 中濃特別支援学校特別棟会議室
(会議の後、各教室に分かれ委員による授業参観を実施)
- 4 参加者

会 長	大谷 弘	各務原市手をつなぐ育成会理事長
副 会 長	加納 稔	中央工機株式会社社長
委 員	市原 真紀	ひまわりの丘第一学園園長
	梅田 美保	美濃市ひばり園サービス管理責任者
	西村 健太	一般社団法人関青年会議所理事長
	安井 晴哉	向山自治会長
	中田 智香	同窓会後援会会長
	小田 晶子	P T A会長
	遠座 未菜	中部学院大学短期大学幼児教育学科講師 (欠席)

学 校 側	垣添 奈巳	校長
	平野 直子	副校長
	高井 和彦	事務部長
	遠藤 衣代	教頭
	長屋 陽子	小学部主事
	亀谷 真也	中学部主事
	酒井 健志	高等部主事
	外村 良文	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校教育目標、目指す学校像、教育指導の重点

- 教職員のはたらき方改革
- 職員へのストレスチェック実施等の徹底
- アクションプラン2025
- 地域参加型による授業の推進と情報発信
- 小学部、中学部、高等部の教育重点

意見1:「地域と共に歩む学校」を目指すため、まさに学校運営協議会がある。

⇒承認を得た

(2) 学校運営組織、校務分掌

○教職員が向上心を持ち働きやすい学校づくり

○6つの校務分掌と業務概要

⇒特に意見なし ⇒承認を得た

(3) 教育課程、年間行事計画

○各部の教育課程

○教科等を合わせた指導

○自立活動

○昨年度からの変更点（中学部「作業学習」の時間）

⇒特に意見なし ⇒承認を得た

(4) 高等部作業製品の販売価格

○6つの作業班

○各作業班の製品と価格

⇒特に意見なし ⇒全ての作業製品の販売価格について承認を得た

(5) 授業交流

○外部委員が3つのグループに分かれて授業の参観・交流

【小学部グループ】

意見1：障害物競走では、それぞれの児童生徒の理解力に違いがあり、支援の工夫が必要である。

意見2：初めて（障がいのある児童と）近くで触れ合った。低学年から高学年の児童が自分から声を掛けてくれて感動した。

意見3：能力や興味が一人一人違うので、集団活動の環境を整えることは大変である。

【中学部グループ】

意見4：ひまわり学園では見られない、頑張って学ぶ姿が見られて感動した。

意見5：先生方は、生徒一人一人に声を掛けていてみんな生き生きとしていた。特別支援学校の学びは必要である。

【高等部グループ】

意見6：木工班の製品の精度がすばらしかった。高等部3年生の生徒が挨拶をしてくれて礼儀正しかった。

意見7：木工班の作業場がとてもきれいに清掃されていた。よい環境である。

生徒たちが、活動に達成感を感じているようすばらしい。

修学旅行のセレモニーのリハーサルでは、教師の生徒への動作説明が分かり易く工夫されており、生徒が積極的に役割をこなしていた。

「余暇を楽しもう」という取組みについて、社会人として重要なテーマである。

意見8：木工室が充実した設備で感心した。

木工班に入れない生徒たちの受け皿が必要である。

生徒に考えさせる授業の進め方がとてもよい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、出席した全ての委員により、今年度の本校の教育計画、組織等、高等部作業製品価格について協議を行い、承認が得られた。また、授業参観を通して委員の意見を得られた。授業改善の観点や支援の方向性についての意見を生かし、めざす児童生徒像の具現化に向けて、全職員で取り組むことを確認した。